

○協働

重点 NPO 等企画提案事業において公益性があると認められた事業には、協働による事業継続のための予算をつけること

- ◎自治会・町内会等活性化補助金を、テーマ型コミュニティにも広げること
- ◎市民が主役のまちを実現するため、市民協働推進条例を制定すること
- ◎市民と行政の協働の基本方針を深化させ、市民協働推進条例を制定すること

<衛生費>

重点 公共施設の電力は、引き続き 100%再生可能エネルギー由来の電力調達に努めること

重点 エネルギーの地産地消に取り組み、公共施設の断熱化を進めること

重点 無作為抽出の市民による気候市民会議を実施し、市民の行動変容につなげること

重点 市の事業、イベント、啓発グッズの脱プラスチック化を進めること

- ◎ゼロウェイスト宣言を行い、市民とともにごみゼロに取り組むこと
- ◎西東京市廃棄物の処理および再利用に関する条例施行規則を点検し、廃棄物減量等推進員の活動内容を見直すこと
- ◎生ごみ減量のため、コンポストやキエーロの普及・啓発を行うこと
- ◎柳泉園で火災の原因となるリチウムイオン電池を行政回収すること

<農林費>

重点 学校給食に地場野菜を活用し、使用割合 30%を目指し向上させること

重点 みどり基金を活用して、民間所有の公園や生産緑地等を計画的に取得し、良質な緑を保全・確保すること

- ◎東京都エコ農産物認証制度の普及啓発を行い、農業者、食品事業者、消費者に周知を図ること

<商工費>

- ◎市内消費喚起事業を行う場合は、費用対効果の上がる制度設計を行うこと

<土木費>

重点 セーフティネット住宅への家賃低廉化補助を導入すること

重点 児童養護施設退所者など若者への住居支援と家賃補助に取り組むこと

重点 空き家・空き店舗の利活用により、コミュニティの拠点を増やすこと

重点 樹木の更新の際には、樹冠被覆率を高める樹種を選定すること

◎公共交通空白地域の移動支援を実現すること

◎公園にソーラーパネルを設置し、非常用電源を確保すること

◎緑の現状を把握するため緑被率を測定すること

<防災費>

重点 防災会議の女性割合を5割に近づけるよう調整すること

重点 避難所難所の運営指針にスフィア基準を位置づけるとともに、DVや性暴力防止等の取り組みについて明記すること

重点 災害弱者の福祉避難所へのダイレクト避難を実現すること

◎在宅避難や備蓄についてわかりやすく市民へ周知すること

◎校舎や公共施設の太陽光発電パネルは、停電時電力を取り出せる自立運転機能を標準装備にすること

<教育費>

○学校教育

重点 介助員制度は障害者差別解消法を踏まえ、さらなる予算の拡充に努めること

重点 個別のニーズへの対応と安定した学級運営のため、学校生活支援員は早急に全校配置すること

重点 どこにもつながっていない不登校の児童生徒に、多様な居場所の選択肢を提供できるよう、公民連携の取り組みを強化すること

重点 学校給食費を無償化すること

重点 学校給食にゲノム編集・遺伝子組み換え食品を使わないこと。開発企業より苗の無償提供を受けても栽培もしないこと

◎すべての子どもに最適な教育環境を提供するため、通学区域の見直しを含めた適正規模化を進めること

◎スキップ、ニコモルームへの予算を拡充すること

◎虐待対応と不登校対応の切り分けを行い、西東京ルールを見直すこと

◎虐待や暴力、性被害から子どもを守るため、学校教育にCAPのプログラムを取り入れること。

◎人権教育の一環として、発達段階に応じた性教育を小中学校で行うこと

◎給食食材の調達は市内産農産物を安定供給できるしくみをつくること

◎オーガニック給食を段階的に取り入れること

◎図書館の資料費を維持すること

◎公民館にフリーWi-Fiを完備すること